摂南大学防災ビレッジ2010
＝ストローであそぼう！＝

2010年8月15日（日）

2010年8月22日(日)

人と防災未来センター（兵庫県神戸市）

プログラム名	参加者数	
	15日	22日
ストローで飛行機をつくろう！	103名	39名
ストローで秘密基地をつくろう！	38名	18名
ストローで強い建物をつくろう！	51名	21名
合　計	192名	78名
	270名	

ストローで飛行機をつくろう！

内容：

折り紙をきりとり、大きさの違う「わっか」を２つ作ります。それをストローの先につけてできあがり！

簡単ですが、折り紙の色の選び方に個性が光ります。

ねらい：災害時の避難所生活では、子どもにも大きなストレスがかかります。避難所にありそうなストローや紙切れででも、おもちゃをつくり遊べることを体験的に知ってもらうことがねらいです。

ストローで飛行機をつくろう！

実験：

できあがったストロー飛行機をとばします。最高記録はなんと8m！

飛び方がきれいでしょ？簡単な材料ですが、よ～く飛ぶんです。

担当者（4年生）コメント：初めての防災イベントに不安もありましたが、子供たちだけでなく私たちも一緒に楽しむことができました。

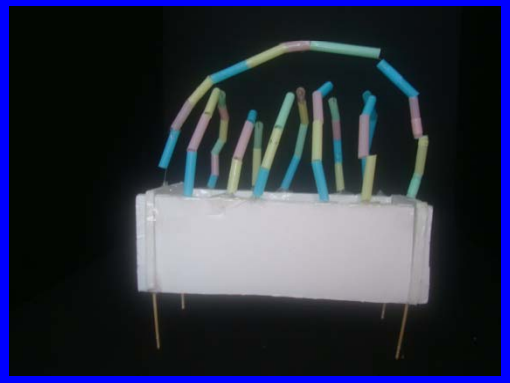
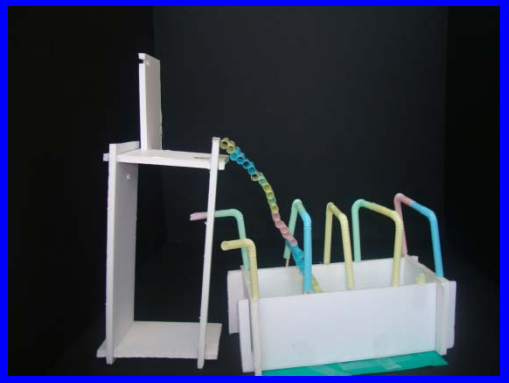
ストローで秘密基地をつくろう！

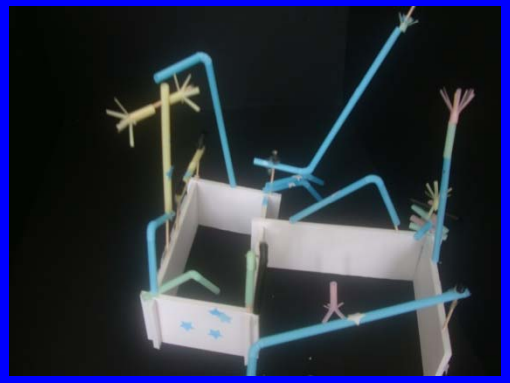
内容：

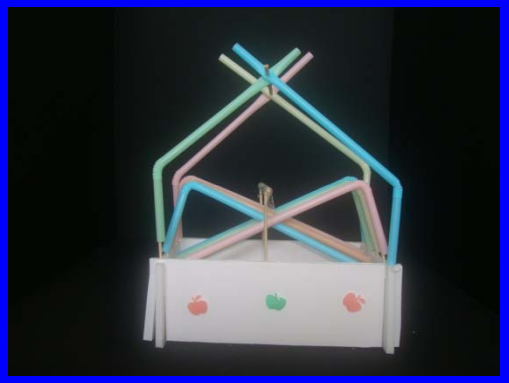
スチレンボードを組み合わせて壁を作ります。屋根は、ストロー、竹串、ワイヤ、つまようじなど身の回りのもので作ります。壁や屋根をきれいに飾り付けする子もたくさんいました。

ねらい：災害時の避難所では、プライバシーの確保が難しく精神的につらい状態となることがあります。避難所において、狭くとも安心できる空間が簡単にできないか・・・を考えています。少し派手かな？

ストローで秘密基地をつくろう！





担当者（4年生）コメント：準備は大変でしたが、子供達が楽しそうに取り組んでくれて、防災に興味を持ってくれたような印象を受けたので、やってよかったです。

ストローで強い建物をつくろう！

内容：

ストローと新聞紙とセロハンテープで、建物のミニチュアを作ります。完成品の上にペットボトルを載せるので、がっしりと強く作ることがポイントです。

ねらい：強いたてものとはどんなものか？をゲーム感覚で楽しみながら考えることをねらいにしています。今回の実験では、ペットボトルを載せること「強さ」を測りましたが、横から押すと簡単につぶれることを試してもらい、地震時の状況も理解してもらいました。

ストローで強い建物をつくろう！

実験：

完成品の上にペットボトルを重ね、さぁ！どこまで耐えることができるかな？

2日間の最高は12kgでした！

池内コメント：強い建物はどんなものだろう？と一生懸命を考えて作っている姿が印象的でした。やっぱり「斜めの材」と「つなぎ合わせの部分」がキーポイントですね。斜め材は、専門用語で「すじかい」といいます。「すじかい」がしっかりしている建物は強いのです！

来年もまたお会いしましょう！

防災イベントに関するお問い合わせやご依頼は・・・

摂南大学理工学部建築学科　池内研究室

〒572－8508

大阪府寝屋川市池田中町17－8

ikeuchi@arc.setsunan.ac.jp